

高梁市
子ども・子育てに関する市民ニーズ調査
報 告 書

令和 6 年 3 月
高梁市

目 次

I 調査の概要

1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1

II 調査結果

1 属性	2
2 家庭の状況	
(1) 主な教育者	4
(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無	7
3 両親の就労状況	
(1) 母親の就労状況	7
(2) 父親の就労状況	14
4 教育・保育事業の利用	
(1) 教育・保育事業の利用について	19
(2) 教育・保育事業の利用希望	27
(3) 子育て支援センターの利用状況	32
(4) 教育・保育事業の利用状況	37
5 病気の際の対応	
(1) 病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった経験	50
(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望	55
6 不定期の保育事業	
(1) 不定期に利用したサービス	59
(2) 不定期に子どもを預ける事業の利用希望	62
7 小学校への通学環境について	
(1) 小学校への通学環境について	66
8 ファミリー・サポート・センターについて	
(1) ファミリー・サポート・センターの認知度	68
9 子育て全般	
(1) 子育てに関する不安や負担の程度	71
10 高梁市への要望・自由意見	77

I 調査の概要

1 調査目的

市内の子育てを行う世帯の現在の幼児教育・保育事業の利用状況や今後の利用希望、子育てについての要望等を把握し、高梁市子ども・子育て支援事業計画中間評価の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査方法

- (1) 調査地域 高梁市全域
- (2) 抽出方法 市内に居住する、0歳から小学校6年生までの児童がいる全世帯
- (3) 調査方法 0～2歳児の保護者は郵送による配布、それ以外は園・小学校を通じて配布
- (4) 調査対象 就学前児童 459世帯・小学生 731世帯
- (5) 調査時期 令和6年2月20日～令和6年3月7日（令和6年3月7日回収分まで含む）

3 回収結果

	配布数(票)	有効回収数(票)	有効回答率(%)
就学前児童	459 票	157 票	34.2%
小学生	731 票	235 票	32.1%

4 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（％）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- 年齢・地域別分析の精度を高めるため、人口比率の小さい年齢・地域別の抽出率を高くして対象者の抽出を行った。そのため、年齢・地域別回答数の母集団に占める割合の差を調整するために、母集団数に対する回答数の割合より算出した係数を乗じ、母集団の年齢・地域比率に補正した規正標本数をもって集計を行っている。

Ⅱ 調査結果

1 属性

* 規正標本数とは、母集団の年齢・地域比率に補正し、集計した数値であり、小数点第 1 位を四捨五入している

(1) 年齢・学年（令和 6 年 4 月 1 日現在）

（就学前児童）

	回答数	割合
0歳	9	5.7
1歳	13	8.3
2歳	15	9.6
3歳	3	1.9
4歳	21	13.4
5歳	50	31.8
6歳	41	26.1
無回答	5	3.2

（小学生）

	回答数	割合
1年生	27	11.5
2年生	39	16.6
3年生	40	17.0
4年生	32	13.6
5年生	53	22.6
6年生	44	18.7

(2) 居住地域

（就学前児童）

	回答数	割合
高梁地域	112	71.3
有漢地域	12	7.6
成羽地域	29	18.5
川上地域	1	0.6
備中地域	3	1.9

（小学生）

全 体	回答数	割合
高梁地域	162	68.9
有漢地域	18	7.7
成羽地域	37	15.7
川上地域	11	4.7
備中地域	7	3.0

(3)-1 世帯構成

（就学前児童）

	回答数	割合
二世帯世帯 （子どもと親）	111	70.7
三世帯世帯 （子どもと親と祖父母）	34	21.7
その他の世帯	12	7.6

（小学生）

全 体	回答数	割合
二世帯世帯 （子どもと親）	142	60.4
三世帯世帯 （子どもと親と祖父母）	56	23.8
その他の世帯	37	15.7

(3)-2 世帯構成（ひとり親世帯の有無）

（就学前児童）

	回答数	割合
両親世帯	145	92.4
母子世帯	9	5.7
父子世帯	1	0.6
その他の世帯	2	1.3

（小学生）

全 体	回答数	割合
両親世帯	198	84.3
母子世帯	32	13.6
父子世帯	3	1.3
その他の世帯	2	0.9

(4) きょうだいの人数

（就学前児童）

	回答数	割合
1人	5	5.3
2人	30	31.9
3人以上	59	62.8

（小学生）

	回答数	割合
1人	6	3.4
2人	78	43.6
3人以上	95	53.1

(5) 末子の年齢（令和6年4月1日現在）

（就学前児童）

	回答数	割合
0歳	16	10.2
1歳	21	13.4
2歳	38	24.2
3歳	9	5.7
4歳	23	14.6
5歳	29	18.5
6歳	21	13.4

（小学生）

	回答数	割合
0歳	3	1.3
1歳	6	2.6
2歳	16	6.8
3歳	13	5.5
4歳	15	6.4
5歳	13	5.5
6歳	14	6.0
7歳	31	13.2
8歳	18	7.7
9歳	29	12.3
10歳	54	23.0
11歳	23	9.8

(6) 調査票回答者

（就学前児童）

	回答数	割合
母親	139	88.5
父親	18	11.5
その他	0	0.0

（小学生）

	回答数	割合
母親	202	86.0
父親	33	14.0
その他	0	0.0

2 家庭の状況

(1) 主な教育者

問 7 就学前児童・小学生

お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。(SA)

【主な教育者】						(%)
	n	父 母 と も に	主 に 母 親	主 に 父 親	主 に 祖 父 母	そ の 他
全体	(392)	63.0	35.2	1.3	0.5	0.0
就学前児童	(157)	68.8	29.9	1.3	0.0	0.0
小学生	(235)	59.1	38.7	1.3	0.9	0.0

主な教育者について、「父母ともに」との回答が 63.0%と最も高く、次いで「主に母親」(35.2%)などの順となっている。

問 8 就学前児童

すべての方にお伺いします。お子さんの子育て（教育を含む）に、日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。※続柄はお子さんからみた関係でお答えください。（MA）

【子育てに日常的に関わっている存在】

(%)

n	父母ともに	母親	父親	祖父母	幼稚園	保育園	こども園	その他
就学前児童 (157)	70.1	28.0	8.3	32.5	14.0	34.4	25.5	5.1

子育てに日常的に関わって存在について、「父母ともに」との回答が 70.1%と最も高く、次いで「保育園」（34.4%）、「祖父母」（32.5%）などの順となっている。

問9 (就学前児童)・8(小学生)

お子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境はどれだと思いますか。(MA)

【子育てに影響する環境】

		(%)					
	n	家庭	地域	幼稚園	保育園	こども園	その他
就学前児童	(157)	96.8	35.0	22.3	41.4	33.1	4.5

		(%)						
	n	家庭	地域	幼稚園	保育園	こども園	小学校	その他
小学生	(235)	97.9	60.4	27.2	32.8	26.4	93.6	7.2

子育てに影響する環境について、就学前世帯では「家庭」との回答が 96.8%と最も高く、次いで「保育園」(41.4%)、「地域」(35.0%)などの順となっている。

また小学生世帯では、「家庭」との回答が 97.9%と最も高く、次いで「小学校」(93.6%)、「地域」(60.4%)などの順となっている。

(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問 10（就学前児童）・9（小学生）

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(MA)

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無】

		(%)		
	n	人日に常 みても親 族、友人 ・知	みの緊 ても急 も親時 も親族 も、し る友く 人・用 事知事 人の に際	い ず れ も い ない
	全体	(392)	43.1	47.4
	就学前児童	(157)	39.5	47.1
	小学生	(235)	45.5	47.7

子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、「緊急時もしくは用事の際のみ親族、友人・知人にみてもらえる」との回答が 47.4%と最も高く、次いで「日常的に親族、友人・知人にみてもらえる」(43.1%)、「いずれもない」(11.7%)となっている。

問 10・9 で「みてもらえる親族・友人・知人がいる」と回答した人のみ回答

問 10-1 (就学前児童)・9-1 (小学生)

お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)

【子どもをみてもらえる親族・知人の状況】

(%)

	n	子どもをみてもらえる親族、友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	親族、友人・知人の身体的負担があり、心配である	約 16.2%	親族、友人・知人の時間的制約があり、負担をかけていることが心苦しい	子どもをみながら、子どもの教育環境や発達に不安がある	その他
全体	(346)	63.9	16.5	16.2	25.4	4.0	1.4
就学前児童	(132)	61.4	19.7	19.7	25.0	4.5	2.3
小学生	(214)	65.4	14.5	14.0	25.7	3.7	0.9

子どもをみてもらえる親族・知人の状況について、「親族、友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」との割合が 63.9%と最も高く、次いで「子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(25.4%)、「親族、友人・知人の身体的負担があり、心配である」(16.5%)などの順になっている。

3 両親の就労状況

(1) 母親の就労状況

問 12（就学前児童）・11（小学生）

お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。（SA）

（1）母親の就労状況と（2）父親の就労状況について、それぞれお答えください。

【（1）母親の就労状況】

(%)								
n	ない	8時間フルタイム程度 の就労・介護休業中 ではない	ある	8時間フルタイム程度 の就労・介護休業中 ではない	ない	パート・アルバイト等 以外で就労して いない	ある	パート・アルバイト等 以外で就労して いない
	以前は就労していたが、 現在就労していない	これまで就労したことがない	母親はいない					
全体	(392)	50.0	4.8	28.3	0.5	14.8	0.5	1.0
就学前児童	(157)	49.0	9.6	22.3	1.3	17.2	0.0	0.6
小学生	(235)	50.6	1.7	32.3	0.0	13.2	0.9	1.3

母親の就労状況について、『フルタイムで就労している』（「フルタイムで働いている」＋「フルタイムだが産休・育休・介護休業中である」）と回答が 54.8%と最も高く、次いで『パート・アルバイト等で就労している』（「パート・アルバイト等で働いている」＋「パート・アルバイト等だが産休・育休・介護休業中である」）28.8%、『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」＋「これまで就労したことがない」）15.3%などの順となっている。

問 12-(1)・11-(1)で「フルタイムで就労している」と回答した人のみ回答

問 12-(1)-1、12-(1)-2（就学前児童）・11-(1)-1、11-(1)-2（小学生）

母親の1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（SA）

【(1)-1 母親の1週当たりの就労日数】

(%)

	n	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答
全体	(215)	0.0	0.0	0.0	0.9	83.3	13.5	2.3	0.9
就学前児童	(92)	0.0	0.0	0.0	0.0	81.5	17.4	1.1	0.0
小学生	(123)	0.0	0.0	0.0	1.6	84.6	10.6	3.3	1.6

母親の1週当たりの就労日数について、「5日」との回答が83.3%、次いで「6日」（13.5%）、「7日」（2.3%）などの順となっている。

【(1)-1 母親の1日当たりの就労時間】

(%)

	n	4 時 間 未 満	4 ～ 6 時 間	7 ～ 8 時 間	9 ～ 10 時 間	1 0 時 間 を 超 える
全体	(215)	0.0	2.8	82.3	13.5	1.4
就学前児童	(92)	0.0	2.2	83.7	13.0	1.1
小学生	(123)	0.0	3.3	81.3	13.8	1.6

母親の1日当たりの就労時間について、「7～8時間」との回答が82.3%と最も高く、次いで「9～10時間」（13.5%）、「4～6時間」（2.8%）などの順となっている。

【(1)-2 母親の家の帰宅時間】

		(%)						
n		1 1 時台 以前	1 2 時台	1 3 時台	1 4 時台	1 5 時台	1 6 時台	1 7 時台
全体	(215)	4.2	0.5	0.0	0.5	0.5	2.3	18.6
就学前児童	(92)	3.3	0.0	0.0	1.1	0.0	3.3	17.4
小学生	(123)	4.9	0.8	0.0	0.0	0.8	1.6	19.5

		(%)					
		1 8 時 台	1 9 時 台	2 0 時 台	2 1 時 台	2 2 時 台 ～ 2 4 時 台	2 5 時 以 降
全体		57.7	10.2	4.7	0.9	0.0	0.0
就学前児童		59.8	9.8	3.3	2.2	0.0	0.0
小学生		56.1	10.6	5.7	0.0	0.0	0.0

母親の帰宅時間について、「18 時台」57.7%と最も高く、次いで「17 時台」(18.6%)、「19 時台」(10.2%) などの順となっている。

問 12-(1)・11-(1)で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人のみ回答

問 13-(1) (就学前児童)・11-1 小学生

母親はフルタイムへの転換希望はありますか。(SA)

【(1) 母親のフルタイムへの転換希望】

		(%)			
n	達成希望があるが実現できない程度、実就労できなくなる見込み	フルタイムへの転換希望があるが実現できない見込み	フルタイムへの転換希望があるが実現できる見込み	パート・アルバイト等での就労を続ける希望	パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい希望
全体	(113)	8.8	23.0	65.5	2.7
就学前児童	(37)	2.7	24.3	70.3	2.7
小学生	(76)	11.8	22.4	63.2	2.6

母親のフルタイムへの転換希望について、『フルタイムへの転換希望がある』（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」＋「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」）31.8%、『フルタイムへの転換希望がない』（「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」＋「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」）68.2%となっている。

問 12-(1)・11-(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した人のみ回答

問 14(就学前児童)・11-2(小学生)

就労したいという希望はありますか。(SA)

【(1) 母親の就労希望】

				(%)
n	子育てや家事などの予定には専念したい（い）	1年より先に、子どもが一定の年齢になっただけに就労したい	すでに内にも、もしくは1年以内に就労したい	
全体	(60)	30.0	30.0	40.0
就学前児童	(27)	29.6	29.6	40.7
小学生	(33)	30.3	30.3	39.4

母親の就労希望について、『就労希望がある』（1年より先、子どもが一定の年齢になった頃に就労したい）+（すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい）70.0%、『就労希望がない』（子育てや家事などに専念したい）30.0%となっている。

【母親の希望の就労形態】

		(%)			
	n	労働度フルタイム（1日8時間程度5日の就労）	パート等（上記以外）	就業形態まで、まだ考	
全体	(42)	23.8	52.4	23.8	
就学前児童	(19)	26.3	52.6	21.1	
小学生	(23)	21.7	52.2	26.1	

母親の希望の就労形態について、「パートタイム、アルバイト等」と回答が 52.4%と最も高く、次いで「フルタイム」「就労形態までは、まだ考えていない」（ともに 23.8%）となっている。

(2) 父親の就労状況

【(2) 父親の就労状況】

								(%)	
n	ない	8時間程度 の就労し ていない	フルタイム （1週5日 程度）で いる	8時間程度 の就労し ていない	パート・ア ルバイト 以外（就 労中）で いる	パート・ア ルバイト 以外（就 労中）で いる	以前は就 労してい たが、現 在就労 していない	これまで 就労した ことがな い	父親はい ない
	(392)	88.3	0.3	0.8	0.0	0.3	0.0	10.5	
	(157)	93.0	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	5.7	
	(235)	85.1	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0	13.6	

父親の就労状況について、『フルタイムで就労している』（「フルタイムで働いている」＋「フルタイムだが産休・育休・介護休業中である」）と回答した割合が 88.6%と最も高く、次いで『パートタイムで就労している』（パートタイムだが育休・介護休業中である）0.8%、『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」）0.3%の順となっている。

問 11-(2)・12-(2)で「就労している」と回答した人のみ回答

問 12-(2)-1、12-(2)-2（就学前児童）・11-(2)-1、11-(2)-2（小学生）

父親の1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（SA）

【(2)-1 父親の1週当たりの就労日数】

(%)

	n	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答
全体	(347)	0.0	0.0	1.4	0.3	69.2	26.5	2.6	1.4
就学前児童	(146)	0.0	0.0	0.7	0.0	71.2	26.0	2.1	1.4
小学生	(201)	0.0	0.0	2.0	0.5	67.7	26.9	3.0	1.5

父親の1週当たりの就労日数について、「5日」との回答が69.2%と最も高く、次いで「6日」（26.5%）、「7日」（2.6%）などの順となっている。

【(2)-1 父親の1日当たりの就労時間】

(%)

	n	4 時 間 未 満	4 ～ 6 時 間	7 ～ 8 時 間	9 ～ 1 0 時 間	1 0 時 間 を 超 え る
全体	(347)	0.0	2.6	53.9	29.1	14.4
就学前児童	(146)	0.0	2.7	53.4	29.5	14.4
小学生	(201)	0.0	2.5	54.2	28.9	14.4

父親の1日当たりの就労時間について、「7～8時間」との回答が53.9%と最も高く、次いで「9～10時間」（29.1%）、「10時間を超える」（14.4%）などの順となっている。

【(2)-2 父親の家の帰宅時間】

(%)

	n	1 1 時 台 以 前	1 2 時 台	1 3 時 台	1 4 時 台	1 5 時 台	1 6 時 台	1 7 時 台	(%)
全体	(347)	 14.4	 1.2	 0.0	 0.3	 0.6	 1.4	 10.4	
就学前児童	(146)	 11.6	 0.0	 0.0	 0.0	 0.0	 2.7	 10.3	
小学生	(201)	 16.4	 2.0	 0.0	 0.5	 1.0	 0.5	 10.4	

(%)

	1 8 時 台	1 9 時 台	2 0 時 台	2 1 時 台	2 2 時 台 、 2 4 時 台	2 5 時 以 降
全体	 24.2	 22.2	 16.1	 6.6	 2.6	0.0
就学前児童	 26.7	 21.2	 17.1	 6.8	 3.4	0.0
小学生	 22.4	 22.9	 15.4	 6.5	 2.0	0.0

父親の帰宅時間について、「18 時台」との回答が 24.2%と最も高く、次いで「19 時台」(22.2%)、「20 時台」(16.1%) などの順となっている。

問 14-(1)・11-(1)で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した人のみ回答

問 14-(2) (就学前児童)・11-1 小学生

父親はフルタイムへの転換希望はありますか。(SA)

【(2) 父親のフルタイムへの転換希望】

		(%)			
n		交換1フル み希望8タ があ間ム り程へ 、度1 実の週 現就5 で労日 きへ程 るハ度 見転・	見換1フル 込希望8タ みなが間ム いる程へ 、度1 実就5 現労日 でへ程 きハ度 る転・	けルパ るター こイト とム・ を「ア 希以ル 望外バ ーイ のト 就等 労へ を「 続フ	育ルパ てター やイト 家ム・ 事「ア に以ル 専外バ 念へイ しをト たや等 いめへ て「 子フ
全体	(3)	0.0	0.0	100.0	0.0
就学前児童	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0
小学生	(2)	0.0	0.0	100.0	0.0

父親のフルタイムへの転換希望について、『フルタイムへの転換希望がない』（パート・アルバイト等の就労を続けることを希望）との回答が 100%となっている。

問 12-(2)・11-(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した人のみ回答

問 14(就学前児童)・11-2(小学生)

就労したいという希望はありますか。(SA)

【(2) 父親の就労希望】

(%)				
	n	いし子 した育 たいて (や 就家 労事 のな 予ど 定に は専 念	労定1 したの たい年 いより に先 な、 つ子 たど 頃も にが 就一	年す 以ぐ 内に にで も、 就労 した しく は1
全体	(1)	0.0	0.0	100.0
就学前児童	(1)	0.0	0.0	100.0
小学生	(0)	0.0	0.0	0.0

父親の就労希望について、『就労希望がある』（「すぐにも、もしくは1年以内に就労した」との回答が100%となっている。

【父親の希望の就労形態】

(%)				
	n	労度フ したル たい・ 1タ 日イ 8ム 時(1 間週 程度 5日 程就	トパ 等ー (ト 上タ 記イ 以ム 外・ アル バイ	え就 て労 い形 ない態 ままでは、 まだ考
全体	(1)	0.0	0.0	100.0
就学前児童	(1)	0.0	0.0	100.0
小学生	(0)	0.0	0.0	0.0

父親の希望の就労形態について、「就労形態までは、まだ考えていない」との回答が100%となっている。

4 教育・保育事業の利用

(1) 教育・保育事業の利用について

問 15 就学前児童

お子さんは現在、幼稚園・保育所・こども園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(SA)

【教育・保育事業の利用状況】

n			利用している		利用していない		(%)
就学前児童			(157)	89.8		10.2	

教育・保育事業の利用状況について、「利用している」との回答が 89.8%、「利用していない」との回答が 10.2%となっている。

問 16 で「利用している」と回答した人のみ回答

問 16 就学前児童

お子さんは、平日でどのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(MA)

【利用している教育・保育事業】

		(%)					
n	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、月単位の契約で定期的に利用している場合のみ）	認可保育所（認可を受けた利用定員20人以上の保育所）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員が概ね619人の施設）	家庭的保育（保育者の家庭で5人以下の子どもを保育する事業）
就学前児童	(141)	21.3	3.5	39.7	34.0	2.1	0.0

(%)						
	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可定した施設）	その他の認可外の保育施設	ベビーシッター（保育者が子どもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他
就学前児童	1.4	0.7	0.0	0.0	0.7	2.1

利用している教育・保育事業について、「認可保育所」との回答が 39.7%と最も高く、次いで「認定こども園」(34.0%)、「幼稚園」(21.3%)などの順となっている。

問 16-1 就学前児童

平日に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(SA)

【現在：教育・保育事業の1週当たりの現在の利用日数】

		(%)					
		1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日
n							
就学前児童	(141)	0.0	0.0	0.7	0.7	95.7	2.8

【現在の利用状況について】

		(%)	
		現在の 利用状況 のままで よい	下記の 利用時間 を希望 する
n			
就学前児童	(141)	92.2	7.8

【希望：教育・保育事業の1週当たりの希望の利用日数】

		(%)					
		1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日
n							
就学前児童	(11)	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9	9.1

教育・保育事業の1週当たりの利用日数について、現在の利用日数は、「5日」(95.7%)と最も高く、次いで「6日」(2.8%)の順となっている。

利用状況については、「現在の利用状況のままでよい」(92.2%)、「下記の利用時間を希望する」(7.8%)となっている。

【教育・保育事業の現在の利用開始時間】

		(%)					
n		7 時 台 以 前	8 時 台	9 時 台	1 0 時 台	1 1 時 台	1 2 時 台
就学前児童	(141)	16.3	63.1	20.6	0.0	0.0	0.0

【現在の利用状況について】

		(%)	
n		現在の 利用 状況 のま まで よい	下 記 の 利 用 時 間 を 希 望 す る
就学前児童	(141)	92.2	7.8

【教育・保育事業の希望の利用開始時間】

		(%)					
n		7 時 台 以 前	8 時 台	9 時 台	1 0 時 台	1 1 時 台	1 2 時 台
就学前児童	(11)	45.5	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0

教育・保育事業の利用開始時間について、現在の開始時間は、「8時台」との回答が 63.1%と最も高く、次いで「9時台」(20.6%)、「7時台以前」(16.3%)などの順になっている。

【教育・保育事業の現在の利用終了時間】

		(%)							
n		1 3 時 台 以 前	1 3 時 台	1 4 時 台	1 5 時 台	1 6 時 台	1 7 時 台	1 8 時 台	1 9 時 台
就学前児童	(141)	2.1	0.0	18.4	0.7	22.7	31.9	23.4	0.7

【現在の利用状況について】

		(%)	
n		現在の利用状況のままでよい	下記の利用時間を希望する
就学前児童	(141)	92.2	7.8

【教育・保育事業の希望の利用終了時間】

		(%)							
n		1 3 時 台 以 前	1 3 時 台	1 4 時 台	1 5 時 台	1 6 時 台	1 7 時 台	1 8 時 台	1 9 時 台
就学前児童	(11)	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3	9.1	36.4	18.2

教育・保育事業の利用終了時間について、「17 時台」との回答が 31.9%と最も高く、次いで「18 時台」(23.4%)、「16 時台」(18.4%) などの順となっている。

問 16-2 就学前児童

サービスを利用したい場所はどこですか。(SA)

【希望する平日の教育・保育事業の利用地域】

	(%)	
	高 梁 市 内	他 の 市 町 村
n		
就学前児童	(156) 97.4	2.6

希望する平日の教育・保育事業の利用地域について、「高梁市内」と回答した割合が 97.4% となっている。

問 16-3 就学前児童

現在、利用している教育・保育事業を利用されている理由についてお伺いします。(MA)

【平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由】

(%)

n	保護者が現在就労している	保護者が、今後就労予定がある・求職中である	保護者が家族・親族などを介護している	保護者に病気や障がいがある	保護者が学生である	子どもの教育や発達のため	その他
就学前児童 (141)	85.8	2.8	0.0	2.1	0.0	25.5	0.0

平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由について、「保護者が現在就労している」との回答が 85.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(25.5%)となっている。

問 16 で「利用していない」と回答した人のみ回答

問 16-4 就学前児童

利用していない理由は何ですか。(SA)

【教育・保育事業を利用していない理由】

(%)					
n	子どもがみている 利用したいが、 保育・教 育の事業に空 きがない	近所の人や父 母の友人・ 知人がみて いる	子どもの祖 父母や親戚 の人がみて いる	利用する必 要がない (子ども のいない 親など)	利用したい が、経済 的な理 由で事 業を利 用でき ない
就学前児童 (16)	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3

(%)					
n	育児休業中 のため	子どもがま だ小さいた め	利用したい が、事業 の質	利用したい が、条件 が合わない (時間帯、 延長・夜 間等)	その他
就学前児童 (16)	31.3	37.5	0.0	0.0	6.3

教育・保育事業を利用していない理由について、「子どもの父母がみている」と回答した割合が 59.9%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」(58.1%)となっている。

(2) 教育・保育事業の利用希望

問 17 就学前児童

すべての方にお伺いします。希望通りに「平日の教育・保育の事業」が利用できるとした場合、お子さんが、今後、回答欄の年齢に達した時に利用したいと思う教育・保育の事業を1つお選びください。また、「特定の園に入園したい」などの希望はありますか。(SA)

【利用を希望する教育・保育事業】

		(%)						
n		幼稚園のみ	幼稚園＋預かり保育	保育所	認定こども園	認可事業（以下未就学児の施設で保育する認可事業）	小規模保育事業（主に3歳未満の子どもを保育する認可事業）	下で家庭等にて保育する認可事業（主に5歳未満の子どもを保育する認可事業）
就学前児童	(157)	9.6	19.1	47.1	56.1	2.5		1.9

		(%)					
n		事業所内保育施設（主に3歳未満の子どもを保育する認可事業）	認可外保育施設	居宅訪問型保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	利用したいとは思わない
就学前児童	(157)	1.9	0.6	0.6	0.6	1.9	0.6

利用を希望する教育・保育事業について、「認定こども園」と回答した割合が 55.4%と最も高く、「認可保育所（園）」（39.5%）、「幼稚園」（22.9%）が続いている。

問 17-1 就学前児童

選択した施設について、「特定の園に入りたい」などの希望はありますか。(SA)

【選択した施設への利用希望の有無】

		(%)	
		希望する	希望しない
n			
就学前児童	(156)	82.1	17.9

選択した施設への利用希望の有無について、「希望する」との回答が 82.1%、「希望しない」との回答が 17.9%となっている。

問 17-2 就学前児童

選択した施設・事業について、お子さんが何歳のときから利用したいと思いますか。(SA)

【選択した施設・事業の利用タイミング】

		(%)					
		0歳から	1歳から	2歳から	3歳から	4歳から	5歳から
n							
就学前児童	(156)	28.8	39.1	9.0	21.2	1.3	0.6

選択した施設・事業の利用タイミングについて、「0歳から」との回答が 28.8%、「1歳から」との回答が 39.1%、「2歳から」との回答が 9.0%、「3歳から」との回答が 21.2%、「4歳から」との回答が 1.3%、「5歳から」との回答が 0.6%となっている。

問 17 で「利用しない」以外に答えた人のみ回答

問 17-3 就学前児童

これらを選ぶ際に重視したことをお聞かせください。(MA) (3 つまで)

【子育て支援施設等を利用する場合に重視すること】

								(%)
n	教育・保育の理念や内容	施設環境（設備・園庭等）	職員（幼稚園教諭・保育士等）の対応の良さ	給食の有無	送り迎えのしやすさ	送迎バス等の有無	自宅からの距離	
就学前児童 (156)	23.1	44.9	47.4	31.4	42.9	0.0	46.2	

							(%)
n	利用料その他の費用	1 日に預けられる時間の長さ	夜間・早期利用の有無	土曜・休日利用の有無	長期休業期間中（夏休み等）の利用の有無	その他	
就学前児童 (156)	11.5	18.6	3.2	3.8	2.6	2.6	

子育て支援施設等を利用する場合に重視することについて、「職員（幼稚園教諭・保育士等）の対応の良さ」と回答した割合が 47.4%と最も高く、「自宅からの距離」（46.2%）、「設備環境（設備・園庭等）」（44.9%）が続いている。

問 17 で「利用しない」以外に答えた人のみ回答

問 17-4 就学前児童

サービスを利用したい場所はどこですか。(SA)

【サービスを利用したい場所】

	(%)	
	高梁市内	他の市町村
n		
就学前児童	(156)	97.4
		2.6

サービスを利用したい場所について、「高梁市内」との回答が 97.4%、「他の市町村」との回答が 2.6%となっている。

(3) 子育て支援センターの利用状況

問 18 就学前児童

現在子育て支援センターや集いの広場（保育所（園）等で親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場）等を利用していますか。（MA）

【子育て支援センター等の利用有無】

					(%)
n	子育て支援センター	つどいの広場	ビでそ ス行の つ他 て市内 いる（ 類公 似民 の館 サ等 ー）	利用していない	
就学前児童 (157)	11.5	0.0	3.2	86.0	

子育て支援センター等の利用有無について、「利用していない」との回答が 86.0%と最も高く、次いで「子育て支援センター」（11.5%）、「その他市内で行っている類似のサービス」（3.2%）などの順となっている。

問 18 で「利用していない」以外に答えた人のみ回答

問 18-1 就学前児童

1 か月あたりの利用回数について、あてはまるもの 1 つをお選びください。(SA)

【子育て支援センターの利用回数】

							(%)
	4 回 以 下	5 ～ 9 回	1 0 ～ 1 4 回	1 5 ～ 1 9 回	2 0 ～ 2 4 回	2 5 ～ 2 9 回	3 0 回 以 上
n							
就学前児童	(18)	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0

子育て支援センターの利用回数について、「4 回以下」との回答が 88.9%、「5～9 回」との回答が 11.1%となっている。

【その他市内で行っている類似のサービスの利用回数】

							(%)
	4 回 以 下	5 ～ 9 回	1 0 ～ 1 4 回	1 5 ～ 1 9 回	2 0 ～ 2 4 回	2 5 ～ 2 9 回	3 0 回 以 上
n							
就学前児童	(5)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

その他市内で行っている類似のサービスの利用回数について、「4 回以下」との回答が 100.0%、となっている。

問 18-2 就学前児童

子育て支援センターの利用について、今後はどのように考えられますか。(SA)

【子育て支援センターの今後の利用意向】

		(%)		
n	は利用して したいが、 今後	い今す 後で利 用利 回数 を増 や し が た、	わ回新 な数た いをに 増利 や用 し し た た い り と、 は利 思用	
就学前児童	(157)	19.7	10.2	70.1

子育て支援センターの今後の利用意向について、「利用してないが、今後は利用したい」との回答が 19.7%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」との回答が 10.2%、「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」との回答が 70.1%となっている。

問 18-3 就学前児童

1 か月どの程度利用したいですか。(SA)

【1 か月の利用希望日数】

		4 日 以 下	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 ～ 19 日	20 ～ 24 日	25 ～ 29 日	30 日 以 上	(%)
n									
就学前児童	(31)	83.9	9.7	0.0	0.0	3.2	3.2	0.0	

1 か月の利用希望日数について、「4 日以下」との回答が 83.9%、「5～9 日」との回答が 9.7%、「20～24 日」「25～29 日」との回答がともに 3.2%となっている。

問 18-4 就学前児童

1 週間のうち、どの曜日を利用したいですか。(MA)

【利用したい曜日】

n	月曜日～金曜日				土曜日		日曜日		祝祭日		(%)
就学前児童	(47)	51.1	51.1	38.3	36.2						

利用したい曜日について、「月曜日～金曜日」「土曜日」との回答がともに 51.1%と最も高く、次いで「日曜日」(38.3%)、「祝祭日」(36.2%)の順となっている。

(4) 教育・保育事業の利用状況

問 19 就学前児童

問 20 小学生

これらの支援事業を知っていますか／利用していますか／今後利用したいですか

【子育て支援事業の利用状況】

(%)

	認知			利用			希望		
	n	知っている	知らない	n	利用している	利用していない	n	利用したい	利用したくない
①子育て支援センター	(392)	76.5	23.5	(300)	63.3	36.7	(392)	30.1	69.9
②母親クラブ	(392)	66.3	33.7	(260)	48.1	51.9	(392)	17.6	82.4
③育児相談	(392)	67.3	32.7	(264)	36.4	63.6	(392)	24.5	75.5
④乳幼児学級・子育て講座	(392)	48.7	51.3	(191)	29.8	70.2	(392)	18.1	81.9
⑤子ども向けイベント(わくわく子どもフェスタなど)	(392)	83.7	16.3	(328)	68.3	31.7	(392)	63.8	36.2
⑥児童館	(392)	61.7	38.3	(242)	38.0	62.0	(392)	27.6	72.4
⑦家庭児童相談	(392)	39.8	60.2	(156)	7.1	92.9	(392)	17.1	82.9
⑧ファミリー・サポート・センター事業	(392)	63.3	36.7	(248)	12.1	87.9	(392)	15.6	84.4
⑨講演会等における託児	(392)	41.3	58.7	(162)	33.3	66.7	(392)	23.7	76.3
⑩スクラム会議	(392)	48.2	51.8	(189)	58.7	41.3	(392)	27.0	73.0
⑪産後ママ安心ケア事業	(392)	42.6	57.4	(167)	11.4	88.6	(392)	17.9	82.1
⑫歯科フッ素塗布事業	(392)	42.9	57.1	(168)	42.3	57.7	(392)	54.1	45.9

※n＝「知っている」回答者のみ

子育て支援事業の利用状況について認知・利用・利用希望の状況を質問した。

認知の状況について、「知らない」と回答した人でみると、「家庭児童相談所」との回答がともに 60.2%と最も高く、次いで「講演会等における託児」(58.7%)、「産後ママ安心ケア事業」(57.4%)などの順となっている。

利用の状況について、「利用していない」と回答した人でみると、「家庭児童相談所」との回答がともに 92.9%と最も高く、次いで「産後ママ安心ケア事業」(88.6%)、「ファミリー・サポート・センター事業」(87.9%)などの順となっている。

利用希望の状況について、「利用したい」と回答した人でみると、「子ども向けイベント」との回答が 63.8%と最も高く、次いで「歯科フッ素塗布事業」(54.1%)、「子育て支援センター」(30.1%)などの順となっている。

問 19-3 で「今後利用したい」に「はい」と答えた人のみ回答

問 19-4 就学前児童 問 20-4 小学生

あなたは、下記の支援施設・制度を 1 か月あたりどれくらいの日数利用したいですか。

※1 週間当たりの希望日数は、1 か月当たりの日数に変換している

【子育て支援センター】

(%)

	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(118)	78.8	3.4	2.5	1.7	0.0	0.0	13.6
就学前	(72)	83.3	1.4	2.8	0.0	0.0	0.0	12.5
小学生	(46)	71.7	6.5	2.2	4.3	0.0	0.0	15.2

子育て支援センターの 1 か月あたりの利用日数について、「1～5 日」との回答が 78.8%と最も高くなっている。

【母親クラブ】

(%)

	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(69)	85.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.5
就学前	(41)	85.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6
小学生	(28)	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3

母親クラブの 1 か月あたりの利用日数について、「1～5 日」との回答が 85.5%と最も高くなっている。

【育児相談】

(%)

	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(96)	71.9	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	27.1
就学前	(55)	65.5	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	32.7
小学生	(41)	80.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.5

育児相談の1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が71.9%と最も高くなっている。

【乳幼児学級・子育て講座】

(%)

	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(71)	71.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.2
就学前	(42)	61.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.1
小学生	(29)	86.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8

乳幼児学級・子育て講座の1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が71.8%と最も高くなっている。

【子ども向けイベント】

(%)

	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(250)	80.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	18.8
就学前	(112)	79.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.5
小学生	(138)	81.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	17.4

子ども向けイベントの1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が80.8%と最も高くなっている。

【児童館】

(%)

	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(108)	53.7	7.4	1.9	4.6	1.9	0.0	30.6
就学前	(54)	61.1	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	31.5
小学生	(54)	46.3	13.0	1.9	7.4	1.9	0.0	29.6

児童館の1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が53.7%と最も高くなっている。

【家庭児童相談】

								(%)
	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(67)	71.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.4
就学前	(30)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
小学生	(37)	75.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.3

家庭児童相談の1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が71.6%と最も高くなっている。

【ファミリー・サポート・センター事業】

								(%)
	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(61)	62.3	6.6	0.0	1.6	0.0	0.0	29.5
就学前	(30)	60.0	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	33.3
小学生	(31)	64.5	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	25.8

ファミリー・サポート・センター事業の1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が62.3%と最も高くなっている。

【講演会等における託児】

								(%)
	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(93)	71.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0
就学前	(52)	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8
小学生	(41)	73.2	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4

講演会等における託児の1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が71.0%と最も高くなっている。

【スクラム会議】

								(%)
	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答
全体	(106)	64.2	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	34.9
就学前	(48)	58.3	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	39.6
小学生	(58)	69.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.0

スクラム会議の1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が64.2%と最も高くなっている。

【産後ママ安心ケア事業】

								(%)	
	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答	
	全体	(70)	55.7	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	40.0
	就学前	(42)	52.4	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	42.9
	小学生	(28)	60.7	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	35.7

産後ママ安心ケア事業の1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が55.7%と最も高くなっている。

【歯科フッ素湿布事業】

								(%)	
	n	1 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 1 5 日	1 6 ～ 2 0 日	2 1 ～ 2 5 日	2 6 ～ 3 0 日	無 回 答	
	全体	(212)	76.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
	就学前	(110)	75.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.5
	小学生	(102)	78.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.6

歯科フッ素湿布事業の1か月あたりの利用日数について、「1～5日」との回答が76.9%と最も高くなっている。

問 20 就学前児童

高梁市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。(MA)

【子育て支援の充実希望内容】

(%)

n	い育児利用サークル等が継続的	増え児童館など親子が安心できる場所を	いイベントと一緒に楽しむ機会を	が子どもに学べる情報提供が	し関心を持ってほしい子どもを医療機関	を認定こども園、幼稚園、保育所等に預ける費用負担を軽減してほしい	しら保育所等、子どもを預ける場所を増やしてほしい	談子育ての悩みが気軽に相談できる場所を	の多世帯（3人以上）への財政的支援の充実	場公園など子どもと遊べる場所がほしい	その他
就学前児童 (157)	12.1	31.2	54.8	24.2	62.4	49.0	19.7	14.6	37.6	68.2	11.5

子育て支援の充実希望内容について、「公園など子どもと遊べる場所がほしい」との回答が68.2%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(62.4%)、「子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい」(54.8%)などの順となっている。

問 21 就学前児童

お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）希望がある場合、利用したい時間帯をお答えください。
(SA)

【土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望】

		(%)		
曜日別		n	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい
	土曜日	(157)	58.6	11.5
	日曜日・祝日	(157)	78.3	1.9
				い月に1〜2回は利用した
				29.9
				19.7

土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望について、「利用する必要はない」と回答した割合が、「土曜日」(58.6%)、「日曜日・祝日」(78.3%)となっている。

【土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用したい時間帯】

		(時)	
曜日別		n	希望利用開始時間平均
	土曜日	(65)	8.23
	日曜日・祝日	(34)	8.15
			希望利用終了時間平均
			16.66
			16.53

土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用したい時間帯について、希望利用開始時間は土曜日では平均 8.23 時から 16.66 時、日曜日・祝日では平均 8.15 時から 16.53 時となっている。

問 21 で「月に 1～2 回は利用したい」と答えた人のみ回答

問 21-1 就学前児童

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(MA)

【子育て支援施設等の月 1～2 回利用希望の理由】

						(%)
n	月に 数回 仕事 が入 るた め	親 族の 介護 や手 伝い が必 要な ため	平 日 に 済 ま せ ら れ な い 用 事 を ま と め て 済 ま せ る た め	息 抜 き の た め	そ の 他	
就学前児童 (60)	75.0	0.0	38.3	35.0	10.0	

子育て支援施設等の月 1～2 回利用希望の理由について、「月に数回仕事が入るため」と回答した割合が 75.0%と最も高く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(38.3%)、「息抜きのため」(35.0%)が続いている。

問 22 就学前児童

「幼稚園」及び「認定こども園」の幼稚園機能部分を利用されていますか。(SA)

【幼稚園機能部分の利用の有無】

		(%)	
n		利用 している	利用 していない
就学前児童	(157)	24.8	75.2

幼稚園機能部分の利用の有無について、「利用している」と回答した割合が 24.8%、一方「利用していない」との回答の割合は 75.2%となっている。

問 22-1 就学前児童

お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望しますか。（「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方）は、利用したい時間帯を「（例）09 時～18 時」のように 24 時間制の数字でお答えください。また、選択肢「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方は、1 週間当たり利用したい日数をお答えください。（SA）

【長期休暇中の教育・保育事業の利用希望】

		（％）		
n	利用する必要はない	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	休みの期間中、週に数日利用したい	
就学前児童 (39)	25.6	41.0	33.3	

長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について、「利用する必要はない」と回答した割合が 25.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答した割合が 41.0%、「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した割合が 33.3%となっている。

問 21-1 で「週に数日利用したい」と答えた人のみ回答

問 22-2 就学前児童

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(MA)

【たまに利用したい理由】

		(%)				
n		週に 数回 仕事 が入 るた め	親 族の 介護 や手 伝い が必 要な ため	買 い物 等の 用事 をま とめ て済 ませ るた め	息 抜 きの ため	そ の 他
就学前児童	(13)	30.8	0.0	69.2	46.2	38.5

たまに利用したい理由について、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」と回答した割合が 69.2%と最も高く、「息抜きのため」(46.2%)、「週に数回仕事が入るため」(30.8%)が続いている。

5 病気の際の対応

(1) 病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった経験

問 25-1(就学前児童)・15(小学生)

高梁市成羽町下原にある「たかはしし病後児保育室」を利用したことがありますか。(SA)

【たかはしし病後児保育室の利用の有無】

(%)		
n	利用 した こと が あ る	利 用 し た こ と が な い
就学前児童 (157)	0.6	99.4

たかはしし病後児保育室の利用の有無について、「利用したことがない」と回答した割合が99.4%となっている。

問 25-2(就学前児童)・15-2(小学生)

「病児・病後児保育事業」は、実施施設がどこにあれば利用しやすいと思いますか。(MA)

【希望する病児・病後児保育事業の利用地域】

		(%)							
n		現状の実施場所 でよい	自宅の 近く	職場の 近く	病院等 の医療機 関に併設	近く・通 所・常 用している 幼稚園等/ 小学校 保育の	その他	わからない	
全体	(392)	18.6	35.2	16.3	33.4	26.0	2.6	8.7	
就学前児童	(157)	19.1	37.6	18.5	37.6	35.0	2.5	0.0	
小学生	(235)	18.3	33.6	14.9	30.6	20.0	2.6	14.5	

希望する病児・病後児保育事業の利用地域について、「自宅の近く」と回答した割合が35.2%で最も高く、次いで「病院等の医療機関に併設」と回答した割合が33.4%となっている。

問 25-3(就学前児童)・15-3(小学生)

この１年間に、お子さんが病気やケガで教育・保育サービスが利用できなかったことはありますか。(SA)

【保育所や幼稚園などを利用できなかった経験の有無】

		n	(%)	
			あ っ た	な か っ た
全体 世帯別	全体	(392)	67.3	32.7
	就学前児童	(157)	58.6	41.4
	小学生	(235)	73.2	26.8

保育所や幼稚園などを利用できなかった経験の有無について、「あった」と回答した割合が67.3%73.2%となっている。

問 25-3・問 15-3 で「あった」と回答した人のみ回答

問 25-4 就学前児童・問 15-4 小学生

お子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育事業を利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法としてあてはまるものすべてを選択し、それぞれの日数もお答えください。(MA)

【病気等により幼稚園・保育所（園）、学校を休んだ際の対応方法】

		(%)					
		n	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	父親又は母親の子どもを就労した	病児・病後児の保育を利用した
全体 就学前児童 小学生		(264)	33.0	80.3	39.0	11.0	0.0
		(92)	44.6	87.0	44.6	10.9	0.0
		(172)	26.7	76.7	36.0	11.0	0.0

		n	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	子連れで仕事をした	その他
全体 就学前児童 小学生		(264)	0.0	0.0	9.8	5.7	0.0
		(92)	0.0	0.0	2.2	6.5	0.0
		(172)	0.0	0.0	14.0	5.2	0.0

病気等により幼稚園・保育所（園）、学校を休んだ際の対応方法について、「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が 80.3%と最も高く、次いで「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」と回答した割合が 39.0%となっている。

【病気等により幼稚園・保育所（園）、学校を休んだ際の年間対応日数（平均日数）】

(日)						
n	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	父親又は母親の子どもを就労していない方が子どもを就労した	病児・病後児の保育を利用した	
全体	(264)	4.60	9.04	5.25	6.59	0.0
就学前児童	(92)	5.32	12.69	6.73	7.90	0.0
小学生	(172)	3.96	6.82	4.27	5.89	0.0

(日)						
n	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	子連れで仕事をした	その他	
全体	(264)	0.0	0.0	12.00	3.00	0.0
就学前児童	(92)	0.0	0.0	2.50	3.50	0.0
小学生	(172)	0.0	0.0	12.79	2.67	0.0

病気等により幼稚園・保育所（園）、学校を休んだ際の年間対応日数について、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」との回答の平均日数が最も多い12.00日、次いで「母親が休んだ」と回答した平均日数が9.04日となった。

(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問 25-4・問 15-4 で「父親が休んだ」・「母親が休んだ」と回答した人のみ回答

問 25-5（就学前児童）・問 15-5（小学生）

その際、できれば病児・病後児保育を利用したいと思いませんか。（SA）

【病児・病後児保育施設等の利用希望】

		n	育で を 利 用 し た か ・ 病 後 児 保	(%)	
				か つ た	利 用 し た い と は 思 わ な
全体 世帯別	全体	(217)		18.9	81.1
	就学前児童	(81)		29.6	70.4
	小学生	(136)		12.5	87.5

病児・病後児保育施設等の利用希望について、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した割合が 18.9%となっている。

問 25-5・問 15-5 で「できれば病児・病後児保育を利用したかった」と回答した人のみ回答

問 25-6（就学前児童）・問 15-6（小学生）
何日利用したかったですか。（SA）

【希望する病児・病後児のための保育施設等の利用日数】

		(%)							
		n	4 日 以下	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 ～ 19 日	20 ～ 24 日	25 ～ 29 日	30 日 以上
全体 世帯別	全体	(41)	58.5	19.5	17.1	0.0	0.0	2.4	2.4
	就学前児童	(24)	62.5	12.5	16.7	0.0	0.0	4.2	4.2
	小学生	(17)	52.9	29.4	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0

希望する病児・病後児のための保育施設等の利用日数について、「4 日以下」と回答した割合が 58.5%と最も高くなっている。

問 25-5・問 15-5 で「利用したいとは思わなかった」と回答した人のみ回答

問 25-8（就学前児童）・問 15-8（小学生）
なぜ利用したいとは思わなかったのですか。（MA）

【病児・病後児のための保育施設等の利用意向】

		(%)						
	n	たみ病 て気も らの中 うの子 のどは もを 不安 他だ 人っ に	るサ ー ビス の質 に不 安が あ	等やサ ー （利 用ビ スの 可能 な時 間・ 性 日 数 立 地	利 用 料 が か か る ・ 高 い	利 用 料 が わ か ら な い	る親 もが 仕事 を休 んで 対応 す る もの と思 って いる	そ の 他
全体	(176)	50.6	11.9	27.8	32.4	12.5	43.2	16.5
就学前児童	(57)	57.9	17.5	38.6	43.9	17.5	43.9	21.1
小学生	(119)	47.1	9.2	22.7	26.9	10.1	42.9	14.3

病児・病後児のための保育施設等の利用意向について、「病気中の子どもを他人にみてもらうのは不安だった」と回答した割合が 50.6%と最も高く、次いで、「親が仕事を休んで対応するものと思っている」と回答した割合が 43.2%となった。

問 25-4・問 15-4 で「父親が休んだ」・「母親が休んだ」以外に回答した人のみ回答

問 25-9（就学前児童）・問 15-9（小学生）
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。（SA）

【父母のいずれかが休んで看たいか希望の有無】

		(%)					
n		た で い き と れ 思 っ た 事 を 休 ん で 看	に よ り し い め な な ど か か 自 身 の 意 思	が 事 を 休 ん で 看 た か つ た が 業 務 仕	事 の 理 解 に よ り し い め な な ど か か 自 身 の 意 思	休 ん で 看 た か つ た が 業 務 仕	わ で 看 な か つ た と い は 思
全体	(160)	32.5	35.6	9.4	22.5		
就学前児童	(55)	32.7	32.7	12.7	21.8		
小学生	(105)	32.4	37.1	7.6	22.9		

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについて、「休んで見たかったが、仕事を休めなかった（業務が忙しいなど自身の意思により）」と回答した割合が最も高く、35.6%となっている。

6 不特定の保育事業

(1) 不定期的に利用したサービス

問 26（就学前児童）・問 16（小学生）

お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまるものをすべて選び、この 1 年間の利用日数（おおよそ）でお答えください。（MA）

【不定期的に利用したサービス】

(%)

	n	一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	期前後に預かる事業のうち不定に利用する場合のみ）	幼稚園や認定こども園での預かり保育（通常の就園時間の前）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	休日・夜間、子どもを保護する事業）	夜間養護等事業・トワイライトステイ（児童養護施設等で	ベビーシッター	その他	利用していない
全体	(392)	1.3	3.1	1.3	0.0	0.3	1.3	93.6		
就学前児童	(157)	3.2	7.6	1.9	0.0	0.6	0.0	87.9		
小学生	(235)	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	2.1	97.4		

不定期的に利用したサービスについて、「幼稚園や認定こども園での預かり保育（通常の就園時間の前後に預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ）」と回答した割合が 3.1%となっている。

【不定期のサービスの年間利用日数（平均日数）】

							(日)	
n	に問一	期前か幼	か	タ	フ	る休ト夜	ベ	そ
	子わ時	に後り稚	る事業	ー(地	アミリ	日・夜間(	ビーシ	の
	ども預	利用預か育	る事業	域住	リー・	間、児	ッタ	他
	をかり	する場合の	業のう	民が	サポ	童養	ー	
	保育所	の業務	の園	子	ート	も養		
	する事	の業務	の園	ども	・セ	護施		
	業で一	の業務	の園	を	ン	等保		
	時理由	の業務	の園	預		護す		
	的を	の業務	の園					
全体	(28)	3.10	12.25	6.34	0.00	2.50	17.50	
就学前児童	(21)	6.20	24.50	1.67	0.00	5.00	0.00	
小学生	(7)	0.00	0.00	11.00	0.00	0.00	35.00	

不定期のサービスの年間利用日数について、「幼稚園や認定こども園での預かり保育（通常の就園時間の前後に預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ）」の平均日数が最も高く、12.25 日となっている。

問 17・問 16 で「利用していない」と回答した人のみ回答

問 26-1 就学前児童

現在利用していない理由は何ですか。(MA)

【不定期のサービスを利用していない理由】

(%)

n	特に利用する必要がない	域利用したいサービスが地域にない	るサービスの質に不安がある	日(立地や利用の事業の利便性・性数など)がよくない	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	らになるがサービスの対象者ではない	自分(サービス)の利用方法(手続き等)がわからない	その他
就学前児童 (138)	65.2	14.5	5.8	15.2	18.8	8.7	11.6	15.9	6.5

不定期のサービスを利用していない理由について、「特に利用する必要がない」を除くと、「利用料がかかる・高い」と回答した割合が 18.8%と高くなっている。

(2) 不定期的に子どもを預ける事業の利用希望

問 27（就学前児童）・問 17（小学生）

お子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で年間何日くらいの事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてと、必要日数をお答えください。（MA）

【不定期的に子どもを預ける事業の利用希望】

		(%)	
	n	利用したい	利用する必要はない
全体	(392)	17.9	82.1
就学前児童	(157)	28.7	71.3
小学生	(235)	10.6	89.4

不定期的に子どもを預ける事業の利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 17.9% となっている。

【不定期に子どもを預ける事業の年間利用希望日数（平均日数）】

(日)				
n		私用 やり フレッ シユ 目的	冠 婚 葬 祭、 兄弟 姉妹 や親 の子 通 院 等	不 定 期 の 就 労
全体	(44)	11.27	8.67	24.60
就学前児童	(27)	11.22	10.06	22.92
小学生	(17)	11.35	5.21	27.71

不定期に子どもを預ける事業の年間利用希望日数について、「不定期の就労」の平均日数が24.60日と最も多くなっている。

問 27 で「利用したい」と回答した人のみ回答

問 27-1 就学前児童

問 27 の目的でお子さんを預ける場合、下記のどの事業を利用したいですか。(MA)

【お子さんを預ける場合の希望事業形態】

		(%)		
n	大規模施設で子どもを保育するサービス	小規模施設で子どもを保育するサービス	地域住民が子育てするの に家庭等身近な場所を 保 育 で き る サ ー ビ ス	
就学前児童	(45)	48.9	80.0	35.6

お子さんを預ける場合の希望事業形態について、「小規模施設で子どもを保育するサービス」との回答の割合が 80.0%と最も多くなっている。

問 20 就学前児童

お子さんの子育てに関して、高梁市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。(MA)

【子育て支援事業の具体的な支援内容】

(%)

n	い育児利用サークル等が継続的	増え児童館など親子が安心できる場所を	いイベントと一緒に楽しめる場所を	が得られる場や学習の機会が	し関心を持てる子どもが医療機関	を認定こども園、幼稚園、	し保育園等、子どもを預ける場所を増やして預け	談子育ての悩みが気軽に相談できる場所がほしい	の多世帯（3人以上）への財政的支援の充実	場公園など子どもと遊べる場所がほしい	その他
就学前児童 (157)	12.1	31.2	54.8	24.2	62.4	49.0	19.7	14.6	37.6	68.2	11.5

子育て支援事業の具体的な支援内容について、「公園など子どもと述べる場所がほしい」との回答が 68.2%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(62.4%)、「子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい」(54.8%)などの順となっている。

7 小学校への通学環境について

(1) 小学校への通学環境について

問 21 小学生

お子さんの小学校への通学手段は何ですか。(SA)

【通学手段】										(%)
n	スクールバス	路線バス	J R	タクシー	自家用車	バイク	自転車	徒歩	その他	
小学生	(235)	11.1	2.6	0.0	0.0	6.4	0.0	0.0	80.0	0.0

通学手段について、「徒歩」との回答が 80.0%と最も高く、次いで「スクールバス」(11.1%)、「自家用車」(6.4%)などの順となっている。

問 21-1 小学生

通学にかかる片道の時間はどのくらいですか。(SA)

【片道の通学時間】						(%)
n	15分未満	15分～30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間以上	
小学生	(235)	49.8	39.6	10.2	0.4	0.0

片道の通学時間について、「15 分未満」との回答が 49.8%と最も高く、次いで「15～30 分未満」(39.6%)、「30～45 分」(10.2%)などの順となっている。

問 21-2 小学生

通学の送迎をされる方がおられますか。それはどなたですか。(SA)

【通学の送迎者】

	n	祖 父 母	母 親	父 親	兄、 姉	親 戚 の 人	友 人・ 知 人	送 迎 は し て い な い	(%) そ の 他
小学生	(235)	6.4	23.8	6.0	0.0	0.0	0.0	62.6	1.3

通学の送迎者について、「送迎はしていない」との回答が 62.6%と最も高く、次いで「母親」(23.8%)、「祖父母」(6.4%) などの順となっている。

8 ファミリー・サポート・センターについて

(1) ファミリー・サポート・センターの認知度

問 34（就学前）・問 19（小学生）

ファミリー・サポート・センターを知っていますか。（SA）

【ファミリー・サポート・センターの認知度】

		（％）		
	n	知っているし、 利用して	知っているが、 利用はし	知らない
全体	(392)	2.3	71.2	26.5
就学前児童	(157)	2.5	73.9	23.6
小学生	(235)	2.1	69.4	28.5

ファミリー・サポート・センターの認知度について、『知っている』（「知っているし、利用している」と「知っているが、利用はしていない」を合わせた割合）との回答が 73.5%、「知らない」との回答が 26.5%となっている。

問 34-1 で「知っているし、利用している」と答えた人のみ回答

問 34-1（就学前）・問 19-1（小学生）

どのような目的で利用していますか。（MA）

【ファミリー・サポート・センターの利用目的】

		（％）						
	n	主たる利用し保 て育サービス とし	保育施設等 の補助利用 目的で足 利	緊急時の利 用し・ケガ 等の	子ども病 気・ケガ 等の	祖父母や 近所の人 え・友 人	親の冠婚 祭利用や 買い物等	保育施設 等の送り 迎えに
全体	(9)	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	33.3	44.4
就学前児童	(4)	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
小学生	(5)	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0

ファミリー・サポート・センターの利用目的について、「その他の目的で利用している」との回答が 44.4%と最も高く、次いで「保育施設等の送り迎えに利用している」（33.3%）などの順となっている。

問 34-2（就学前）・問 19-2（小学生）

1 か月どれくらいの頻度で利用していますか。（SA）

【ファミリー・サポート・センターの利用頻度】

		(%)				
n		4 日 以下	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 日 ～ 19 日	20 日 以上
全体	(9)	77.8	11.1	11.1	0.0	0.0
就学前児童	(4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学生	(5)	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0

ファミリー・サポート・センターの利用頻度について、「4 日以下」との回答が 77.8%と最も高く、次いで「5～9 日」「10～14 日」との回答が（ともに 11.1%）などの順となっている。

問 34-3（就学前）・問 19-3（小学生）

1 か月の利用日数を増やしたいと思いますか。（SA）

【ファミリー・サポート・センターの利用日数を増やしたいか】

		(%)					
n		4 日 以下	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 日 ～ 19 日	20 日 以上	増 や し た い と は 思 わ な い
全体	(9)	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8
就学前児童	(4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
小学生	(5)	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

ファミリー・サポート・センターの利用日数を増やしたいかについて、「増やしたいとは思わない」との回答が 77.8%と最も高く、次いで「4 日以下」（22.2%）などの順となっている。

問 34 で「知っているが、利用はしていない」と回答した人のみ回答

問 34-1 (就学前児童)・19-4(小学生)

現在利用していない理由は何ですか。(SA)

【ファミリー・サポート・センターを利用していない理由】

		(%)							
n	特に利用する必要がない	サービスの内容に不安がある	日数(立地)のサービスが利用可能でない・不便	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	自分がかかるサービスの対象にならない	サービス(等)の利用方法(手続)がわからない	その他	
就学前児童	(116)	66.4	6.0	3.4	13.8	2.6	3.4	2.6	1.7
小学生	(163)	79.8	9.8	8.6	17.8	5.5	4.9	6.1	4.9

ファミリー・サポート・センターを利用していない理由について、就学前児童世帯では、「特に利用する必要がない」との回答が 66.4%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」(13.8%)などの順となっている。一方、小学生世帯では、「特に利用する必要がない」との回答が 79.8%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」(17.8%)などの順となっている。

問 34-5 (就学前児童)・19-5(小学生)

現在は利用していないが、できれば利用したいですか。1 か月に利用したい日数をお選びください。(SA)

【今後のファミリー・サポート・センターの希望する利用頻度】

		(%)					
n	4 日以下	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 日 ～ 19 日	20 日以上	利用したいとは思わない	
全体	(202)	12.4	2.5	1.5	0.5	82.7	
就学前児童	(39)	28.2	2.6	5.1	0.0	61.5	
小学生	(163)	8.6	2.5	0.6	0.6	87.7	

今後のファミリー・サポート・センターの希望する利用頻度について、「利用したいとは思わない」との回答が 82.7%と最も高く、次いで「4 日以下」(12.4%)などの順となっている。

9 子育て全般

(1) 子育てに関する不安や負担の程度

問 35（就学前児童）・22（小学生）

子育てに関して不安感や負担感をお感じですか。（SA）

【子育てに関する不安や負担の程度】

		(%)				
	n	非常に不安や負担を感じる	なんとなく不安や負担を感じる	あまり不安や負担は感じない	全く感じない	なんとも言えない
全体	(392)	8.4	44.9	34.9	7.1	4.6
就学前児童	(157)	8.3	46.5	35.0	7.0	3.2
小学生	(235)	8.5	43.8	34.9	7.2	5.5

子育てに関する不安や負担の程度について、『感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」を合わせた割合）との回答が 53.3%、『感じない』（「全く感じない」と「あまり不安や負担は感じない」を合わせた割合）との回答が 42.0%となっている。

問 36 (就学前児童)・23 (小学生)

現在、子育てをしていて感じている困りごとは何ですか。(MA)

【子育てに関して悩んでいること】

											(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
n	と	病	気	や	発	育・	発	達	に	関	す	こ	食	事	や	栄	養	に	関	す	こ	育	児	の	方	法	が	よ	く	わ	か	ら	な	い	こ	と	子	ど	も	の	と	の	接	し	方	に	自	信	が	持	て	な	い	こ	と	子	ど	も	と	の	時	間	が	十	分	と	れ	な	い	こ	と	話	し	相	手	や	相	談	相	手	が	い	な	い	こ	と	仕	事	や	自	分	の	や	り	た	い	こ	と	が	十	分	で	き	な	い	こ	と	子	ど	も	の	教	育	に	関	す	こ	と	子	ど	も	の	友	達	付	き	合	い	(い	じ	め	等	を	含	む	)	に	関	す	こ	と																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全体 就学前児童 小学生	(392)	27.6	21.4	4.3	13.8	35.7	6.4	21.7	32.7	27.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

子育てに関して悩んでいることについて、「子育てで出費がかさむこと」との回答が 37.0%と最も高く、次いで「子どもとの時間が十分とれないこと」(35.7%)、「子どもの教育に関すること」、「自分の自由な時間が持てないこと」(ともに 32.7%) などの順となっている。

問 37（就学前児童）・24（小学生）

子育てについて不安に思ったり、困ったりすることやわからないことがある場合、だれ（どこ）に相談しますか。（SA）

【子育てで不安や困ったときに相談する人（場所）】

		(%)							
	n	配偶者・パートナー	その他の親族（親、兄弟姉妹等）	隣近所の人、地域の知人、友人	職場の人	保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	子育てサークルの仲間	ファミリー・サポート・センターの提供会員	保育士、幼稚園の先生、学校の先生
全体	(392)	77.0	70.9	37.5	32.1	31.4	2.3	0.0	29.6
就学前児童	(157)	81.5	75.8	35.0	29.9	33.1	1.9	0.0	32.5
小学生	(235)	74.0	67.7	39.1	33.6	30.2	2.6	0.0	27.7

		(%)						
	n	医師、保健師、看護師、栄養士など	家庭児童相談員（高梁市こども未来課）	子育て支援センター等親子の交流の場	母子・父子自立支援員（高梁市こども未来課）	民生・児童委員、主任児童委員	悩み相談電話（高梁市教育委員会）	保健センター（高梁市健康づくり課）
全体	(392)	13.3	0.5	4.1	0.3	0.0	0.0	0.3
就学前児童	(157)	19.1	0.6	6.4	0.6	0.0	0.0	0.6
小学生	(235)	9.4	0.4	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0

		(%)						
	n	保健所	児童相談所	民間電話相談	ベビーシッター	相談相手はいない	その他	相談すべきことはない
全体	(392)	0.0	0.5	0.0	0.0	2.3	4.8	1.0
就学前児童	(157)	0.0	0.6	0.0	0.0	3.2	5.7	0.0
小学生	(235)	0.0	0.4	0.0	0.0	1.7	4.3	1.7

子育てで不安や困ったときに相談する人（場所）について、「配偶者・パートナー」との回答が 77.0%と最も高く、次いで「その他の親族」（70.9%）、「隣近所の人、地域の知人、友人」（37.5%）などの順となっている。

問 38（就学前児童）・25（小学生）

子育てに関する情報をどこ（だれ）から入手していますか。（MA）

【子育てに関する情報の入手方法】

		（％）								
	n	隣近所の人	親族（親、兄弟姉妹など）	保育園、幼稚園、こども園、学校	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌、育児書	市の広報（SNSを含む）やイベント	市役所や市の機関	子育て支援センター	
全体	(392)	20.7	49.7	67.3	30.1	9.2	23.7	6.9	5.6	
就学前児童	(157)	17.8	52.2	70.1	19.7	12.1	28.7	6.4	8.3	
小学生	(235)	22.6	48.1	65.5	37.0	7.2	20.4	7.2	3.8	

		（％）								
	n	子育てサークルのなかま	インターネット（SNSを含む）	コミュニティ誌	民間の電話相談	高梁市こども未来課	情報の入手先がない	その他	情報の入手手段がわからない	
全体	(392)	3.8	39.3	1.3	0.0	1.5	1.5	8.7	1.8	
就学前児童	(157)	5.1	48.4	0.0	0.0	3.8	2.5	7.0	1.9	
小学生	(235)	3.0	33.2	2.1	0.0	0.0	0.9	9.8	1.7	

子育てに関する情報の入手方法について、「保育園、幼稚園、こども園、学校」との回答が67.3%と最も高く、次いで「親族」（49.7%）、「インターネット」（39.3%）などの順となっている。

問 39（就学前児童）・26（小学生）

高梁市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。（MA）

【子育て支援の充実への期待度】

		(%)							
	n	のひとり親家庭の自立支援	障害児の自立支援の充実	各種子育てや悩み等に対する充実	女性及び乳幼児の健康対策の充実	児童館・児童遊園など親子の交流の場及び子どもの遊びの場の整備	放課後児童クラブなど放課後児童対策の充実	小児医療体制の整備などの充実	
全体	(392)	16.1	17.9	13.5	13.8	41.8	29.8	47.4	
就学前児童	(157)	14.0	17.8	12.1	17.2	47.8	36.3	54.1	
小学生	(235)	17.4	17.9	14.5	11.5	37.9	25.5	43.0	

		(%)							
	n	の保育充実など、保育サービスの向上	保育所の定員増や延長保育	児童館・児童遊園など親子の交流の場及び子どもの遊びの場の整備	放課後児童クラブなど放課後児童対策の充実	小児医療体制の整備などの充実			
全体	(392)	21.4	12.5	21.4	16.1	10.2	19.9		
就学前児童	(157)	32.5	13.4	16.6	14.6	12.7	18.5		
小学生	(235)	14.0	11.9	24.7	17.0	8.5	20.9		

子育て支援の充実への期待度について、「小児医療体制の整備などの医療対策の充実」との回答が 47.4%と最も高く、次いで「児童館・児童遊園など親子の交流の場及び子どもの遊びの場の整備」（41.8%）、「放課後児童クラブなど放課後児童対策の充実」（29.8%）などの順となっている。

問 40（就学前児童）

現在通っている保育サービスについての「満足度」と「重要度」について、「満足している」「重要だと思う」ものを3つずつお選びください。（MA）

【保育サービスの満足度】

											(%)
	n	施設・環境	職員等の配置状況（人員）	子どもへの接し方・日常の遊び	行事の内容	病気やケガの時の対応	保護者の要望・意見への対応	悩みなどへの相談対応	利用者間のネットワーク	安全対策	衛生策
就学前児童	(157)	55.4	45.2	77.7	49.7	16.6	15.9	12.7	5.1	11.5	10.2

保育サービスの満足度について、「子どもへの接し方・日常の遊び」との回答が 77.7%と最も高く、次いで「施設・環境」（55.4%）などの順となっている。

【保育サービスの重要度】

											(%)
	n	施設・環境	職員等の配置状況（人員）	子どもへの接し方・日常の遊び	行事の内容	病気やケガの時の対応	保護者の要望・意見への対応	悩みなどへの相談対応	利用者間のネットワーク	安全対策	衛生策
就学前児童	(157)	49.0	49.7	72.6	14.0	28.7	20.4	8.3	3.2	33.1	21.0

保育サービスの重要度について、「子どもへの接し方・日常の遊び」との回答が 72.6%と最も高く、次いで「職員等の配置状況」（49.7%）などの順となっている。

10 高梁市への要望・自由意見

問 48 高梁市への要望、あなた自身がやりたいことなど、自由にお書きください。

(1) 保育園、幼稚園（小学校）の施設について

内容	性年代別
まず、子どもを産む環境がない。産みたかったが産めなかった。あと、病気になったとき救急があればすごく助かる。小、中学校を統合するという話があるが、無理がある。この地域で育てていきたい。まず、子どもを増やすことが優先ではないかと思う。	母親 30 代
もともと病院がない上に小中学校の合併により、家の近くに何もなくなるので、とても不便で暮らしにくくなりそうです。合併が避けられないのなら、子育て期間中だけでも子どもが学校に歩いて通える距離に住めるようにしてもらいたい。 このアンケートは時間の 7 時は入力できるが、7 時 30 分は入力出来なかったため、正確な時間は回答できていません。あと、質問があっても回答欄がなく、回答できていない質問もありました。	母親 40 代
子どもが減っているから学校の合併をするのが決まっています。産婦人科もないのに子どもが増える環境にどう変わるのか…。大学に力を入れる前にもう少し若い人が高梁に帰れる環境にしてもらいたい。	母親 40 代
助産院がほしい。お産だけでなく、乳房のケアしてもらえると産後も安心。 森のようちえんのような、高梁の自然をいかした保育の場。学校の統廃合は更に過疎を加速します。高梁市市役所のしていることは今後、高梁市を持続していくつもりかどうか、不安になります。もう、諦めてしまったのかな。	母親 40 代
子育て広場の場所をもう少し増やして欲しい。 オルタナティブスクールのような学校を作って欲しい	母親 50 代
川上小学校、中学校がなくなってしまうのが非常に残念です。川上町に若い世帯がいなくなり人口減少が急激に進んでしまいそうで将来が不安です。	母親 50 代
このアンケートも分かりますが先日の学校再編は駄目すぎます。結局トップが変わらないと高梁市の人口減少は歯止めが効かないと思います。本当に一党政治です。アンケートや意見を言っても結局は高梁、成羽、有漢に予算ばかりかけていますよね。川上は皆なで団結します。	母親 60 代

(2) 保育園、幼稚園(小学校)のサービスについて

内容	性年代別
高梁市の子育て支援センターを利用したいが保育園を利用している為、土日祝が開いておらず利用できない。市内で遊ぶ場所が少なく、市外で探し出かけることが多いので、室内、戸外とも安心して遊べる場所が増えると嬉しい。ベビー、子ども用品が買える場所が少なくお店(バースデイ、西松屋等)が市内に出来たら嬉しい。18歳まで医療費無料、2歳までオムツ支給は非常に助かっています。今後も継続していただけると嬉しいです。	父親 30代
総社では、週に1度プール教室に送迎している保育園があるそうです。屋内温水プールがあれば、市内の人はもちろん喜ばれると思いますし、高梁市にもっと人が増えるのではないかと思います。	母親 20代
感染症など、家庭での捉え方に差があり保育園に報告していないケースが多い印象。幼いクラスなど感染対策は困難な状況であるからこそ、ご家族との会話からしっかり情報収集してほしい。発表会など、一部の方を対象として何度も開催するケースがみられたが園長先生の判断で対象になる方へ声かけのみで他の方は知らないケースがみられたが感染症など対策や撮影など個人情報に関する件はどうなるのか対応が曖昧であったと思う。	母親 30代
保育士も、怪我の正しい処置について学習する機会を設けてほしい。または、看護師などが定期的に従事するなどしてほしい。傷口に消毒液を使用していたり、打撲時に冷やす効果のない冷えピタを貼ったりなど、間違った対応をされている。	母親 30代
子どもが病気をしたとき、登園許可証が必要な場合がありますが、小児科がいつも混んでいて、もらいにいくのが苦痛です。小学校のように許可証をなしにしてほしいです。	母親 30代
園で年度はじめに記入する書類についてですが、前年からの変更点のみ記入することはできないか。毎回毎回同じことを兄弟分書かされ、とても時間を取られる。	母親 30代
パートですが掛け持ちで18時ぐらいまで仕事したいです。が、預かりは17時までのので働けません。そこが悩みどころです。	母親 40代
保育料が無償化され、ありがたいと思う反面、就労していない親がいる家庭は14時迎えです。延長する場合は料金が発生します。両親とも就労している家庭は18時まで料金がかかりません。不公平ではありませんか？それに、延長するには正当な理由が必要です。リフレッシュのためなどは却下されるようですが、逆になんで？と思います。就労していなければ常に自由もリフレッシュもなく決まった時間に迎えに行かなければなりません？無料ならそれを強要されても仕方ありませんが、料金が発生している以上、理由を問う必要もないと思うのですが。	母親 40代

(3) 子どもの遊び場（公園など）について

内容	性年代別
自由に安全にのびのび遊べる公園が少ない。	母親 20 代
他県の良い所を取り入れるのが良いと思う。巨大屋内施設等が安く利用できる場所を作って欲しい。ファミサポは信用できる人でなければ利用しようという気にはならない。	母親 30 代
雨や天候の悪い時、高梁の支援センターでは狭すぎるので大型遊具のある吉備プラザのキッズパークまで行って遊ばせています。高梁市内にも大型遊具やボールプールなどを設置してある室内の施設が欲しい。あると無いとでは全然違うので何百円か請求してもらっても構わないので持て余してる建物に作って頂きたいです。	母親 30 代
要望としては、公園など気軽に通える場所をもっと増やしてほしいです。使用していない旧児童館や幼稚園などを使えるようにしてほしいです。田舎なのに遊ぶ場所が少ないのが気がかりです。	母親 30 代
県内でいち早く子育て宣言？したと言うことですが、目に見えてその体制が整っているとは感じづらいです。吉備中央町にあるような、アスレチックのある無料で遊べる屋内施設どころか児童館ですら気軽に立ち寄れない。	母親 30 代
また、雨の日など思い切り遊べる施設があると非常に助かります。公園も少ないので、休日など集中して人が集まるので小さな子どもを数人連れて行くと他の方に気を使いながら、自分の子どもも見ないといけなないので大人はあまり楽しめません。	母親 30 代
行政放送で紹介されている古い公園は故障したままの遊具や、サビやカビが酷く整備が不十分。猛暑や雨の日の遊び場が少ない。	母親 40 代
高梁はすべてにおいて、子育てがしにくい地域である。閉鎖的で、今回のアンケートを行うことで何が変わるのかわからない。共働きが当たり前のこの時代にあっていない。公園も少ない、遊具も少ない、買い物もできる場所が少ない、最初から住んでいる地元人達のみが情報をよく知っている、そして他の場所から来た人を受け付けにくい傾向にある。鎖国のような地域なので、少しでも開かれた地域性にしてほしい。	母親 40 代

(4) 医療について

内容	性年代別
子どもが 800g で産まれました。発達を促すためリハビリが必要ですが、高梁市には小児がリハビリできる施設がなく困ります。病院か療育に小児リハビリの職員の配置をお願いしたいです。	母親 20 代
耳鼻咽喉科や皮膚科がないので市外へ行かなくてはいけないのが本当に不便です。医療面はどうにかしてほしい。また待ち時間が長いのは体調不良な子どもには辛い(特に車待機)ので、ネット予約が出来るシステム、処方箋を薬局に持って行かなくても準備しておいてもらえるシステム等をどの医療機関にも導入してほしい。	母親 30 代
病児保育は利用可能の条件が保育園と全く同じなので、仕事のある親が利用することができないので意味があるのかなと思っていた。病気のときに預かってくれる施設や親の時間確保のための時間だけでも預かってもらえる保育施設があれば利用したい。高梁市は田舎なので病院が決まったところしかなくて選択肢がないし結局大きいことは倉敷まで出ないとみてもらえなくて、連れていく母親の負担も大きい。産めるところもないので、子育てしにくいのは仕方ないと思う。	母親 30 代
夜間休日でも小児を診てくれる病院や機関がほしい。	母親 30 代
医療体制の充実は早期に改善が必要であると思う。 (産婦人科がない、救急で小児科にかかれない)	母親 30 代
もともと病院がない上に小中学校の合併により、家の近くに何もなくなるので、とても不便で暮らしにくくなりそうです。合併が避けられないのなら、子育て期間中だけでも子どもが学校に歩いて通える距離に住められるようにしてもらいたい。	母親 40 代

(5) 給付金・支援について

内容	性年代別
子どもが病気などで親が仕事を休む場合に自治体からの補助があれば休暇を取りやすいと思います。病児保育等ありますが、小さい月齢の子どもには実親が対応すべきケースが多いのではないかと思います。自治体からの支援があれば、企業側も職員に対して休暇を取得させやすいと思います。例えば、人間的なサポートは難しいかもしれませんが、休暇を取得した者に対して金銭的なサポートがあると良いと思います。	父親 20 代
子育て支援としてミルク代、オムツ代、その他の金銭的支援がもっと充実すると助かります。	父親 30 代
3 歳未満児の保育料をもう少し減額してほしい。給食費の支払いもやや高いと感じる。	母親 20 代
多子家庭の経済的支援をもっと充実してほしい。何年か前まで 3 人目や 4 人目の出産祝い金が多かったのがなくなってしまっていて残念。他市や他県で給食費無償化の話も聞くので、高梁市でもしてほしい。	母親 30 代
現在母親の私が仕事が忙しく家庭と両立できず精神的にやられ仕事を辞めています。仕事をしていた際には介護職で土曜にも出勤していたし、旦那との話し合いで祝日等もお互いに調整しどちらかは出勤していました。 旦那の方も介護職で不定休の夜勤を含めたシフト制で、こういったアンケート等には基本的に就業時間を記入する場合こういった状況を書く欄はあまりありません。 旦那の様に早出、日勤、遅出、夜勤がバラバラにあり、土日や祝日が関係ない職業もあります。そういったパートナーがいる家庭についての事にも少し視点をあててもらえるとありがたいと思います。	母親 30 代
1 人親や非課税の親などばかり、支援金の給付などがあるが、コロナ禍で両親共働きでも仕事が減少し、少なからず支援してほしい家庭もある。1 人親ばかりが給付をしてもらうのは一生懸命共働きをしていても厳しい家庭には辛い。給付の際はもっと考えてほしい。	母親 30 代
社会保険料、税金、物価と、ありとあらゆるものが値上がりしていくなか、夫婦ともに収入が上がらず、二人目以降を検討することすらできませんでした。若い世代には、お金が理由で子どもを諦めることはしてほしくないです。生活が苦しいのは、個人だけの問題ではないと思います。	母親 30 代
他県の良い所を取り入れるのが良いと思う。巨大屋内施設等が安く利用できる場所を作って欲しい。ファミサポは信用できる人でなければ利用しようという気にはならない。3 人以上の多子家庭には保育園や小学校入学の時の物品購入や学級費等でも補助があっても良いと思う。母子家庭でも偽装離婚の家庭を多く知っているの、審査を厳しくすべき。	母親 30 代
子育て支援センターが 1 箇所しかなく、職員さんが排他的で使いにくかった。	母親 40 代
どのサービスを利用する際にも費用がかかるので利用できない。ひとり親としては常に人手不足なので、食事作りなどの家政婦的なサポートがあればいいのに、と常々思う。	母親 40 代

(6) その他

内容	性年代別
小児科の駐車場が狭いし空いていない事もある、待ち時間が長い。 子ども連れでも気軽に行ける低価格のファミレスを増やして欲しい。	母親 20 代
中学校の部活動の選択肢が、ないように感じます。何も部活動に入らないのはいけないのであれば、もう少し、部活動の選択肢を増やしてほしいです。吹奏楽部をつくってほしいです。	母親 30 代
子ども用品を買うところが高粱になく急いでいるとき困った	母親 30 代
高粱市内で子ども用品(服など)が買えるお店が少なすぎます。市内のお店で探して買えなくて、結局総社や倉敷へ行き、ついでに日用品など他の買い物を済ませることが多いので、市に不便さを感じます。 また、子どもが多いと食費や日用品など生活する上でのお金も日常的に負担が多くなるので、どうしても市外の安いお店へ行きがちになります。しかし、子どもを連れて市外に買い物に行くのも大変なのでいつも市内で済ませれたらなあと思っています。	母親 30 代
様々な都道府県に住んだ経験がありますが、高粱市は他とは違い、子連れで市民の方とすれ違った時にいつも声をかけてくださったり、挨拶が根付いているのが本当に素晴らしいと感じています。(特に、多感な時期であるはずの学生さんにいつも子どもを可愛いと言ってもらえる事に大変驚きます) 逆に、育児環境の点では他県や民間企業の設備を知っているが故に、高粱市では不足していると感じてしまい、どうしても他市に出してしまう所があり残念に思います。 (単純に新生児のベビー服を売っている店がない、など) 住んでいる人が本当に素晴らしく、心穏やかに過ごせる市なので、たくさんの若い人が移住してくれたらいいなと思っています。	母親 30 代
色々な事業をしていますが、市に問い合わせるまで分からないものが多いような気がします。あらゆる場所で宣伝してもらえると気付きやすくなって利用もしやすくなるかと思っています。	母親 30 代

名 称 子ども・子育てに関する市民ニーズ調査 報告書

発 行 高梁市 健康福祉部 こども未来課

所 在 地 〒716-8501 高梁市松原 2043 番地

電 話：0866-21-2666

F A X：0866-23-1433

発行年月 令和6年3月